

観光・地域振興 コース

**地域の資源を活用し、
観光や産業活性化に活かす。**

経済学・経営学をベースに、観光学概論、まちづくり論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、デジタルマップを用いた調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な知識を身につけます。進路としては、公務員（観光振興、地域振興）、公益法人等（JA、生協、商工会議所など）、観光業、地場産業等の企業があげられます。

！ 観光・地域振興コースのポイント

01 観光を客観的に捉える洞察力

観光者の行動や地域の問題を、フィールドワークなどを通して収集したデータを基にデジタルマップなどを用いて分析し、問題改善や地域振興に活用することを実践的に学び、身につけます。

02 企業・自治体と連携した観光研究

四国を代表する企業や各自治体等と連携して県内各地の観光に関する調査研究を行います。経済学、経営学の知識を実践を通して学び、さらに社会に出てからの実践的な課題解決力が身につけられます。

03 アイデアをカタチにする実践力

観光や地域振興策を提案するうえで、現状を分析する力とともに、地域資源を活用するクリエイティブな発想力も必要となります。他所での事例研究に留まらず、県内をフィールドとした現場での実践を通じて、柔らかな創造性を鍛えます。

■ セミナール紹介。ゼミの魅力や雰囲気をご紹介します！

【金ゼミナール】

金 徳謙教授



GISを用いて地域の問題の 発見と解決・改善を学ぶ

ゼミでは、地域にある問題を発見し、解決・改善することを目指し、今後さらに普及が期待されるGISという道具を用いて調査分析することを学びます。また、説得力ある文書の作成とプレゼンテーションを学びます。デジタルマップの作成・活用をはじめに、大量のデータの活用方法などを、先輩と後輩が一緒になって切磋琢磨することで、楽しく学んでいます。社会に出てからも活用できるよう、実践的に学んでいます。

【古川ゼミナール】

古川 尚幸教授



地域資源を活用した商品開発 ならびに持続可能なまちづくり

古川研究室では、商品学の視点から、「商品」・「環境」・「地域」をキーワードに、研究を行っています。地元企業や自治体、住民のみならずと協力して、地域資源を活用した商品開発や地場産品の開発・情報発信などについて、取り組んでいきたいと思っています。

【西成ゼミナール】

西成 典久准教授



まちづくり・デザイン研究室へようこそ！ 実践活動を通じて地域に提案

西成ゼミでは「デザイン」をキーワードに、地域の魅力創造・課題解決に取り組んでいます。対象となる地域の潜在的な魅力を引き出し、そこに新たな価値を加えることで、持続的な観光まちづくりを研究・実践しています。具体的な活動としては、「屋島山上ちようちんカフェ」（高松市連携）や「中山間地域のコミュニティデザイン」（香川県連携）、学生達と共にチームづくりをしている「なえどこ」・「またたび」・「TERASU」といった学生プロジェクトに取り組んでいます。



想定される進路先

- ・公務員、公益法人
- ・観光業（交通、宿泊含む）
- ・広告、メディア
- ・地場産業等の企業
- etc.

※ 高等学校教諭1種免許状（商業）